

氏名	磯 村 寛 樹
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3466 号
学位授与の日付	平成 12 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Suppressive effects of human herpesvirus-6 on thrombopoietin-inducible megakaryocytic colony formation <i>in vitro</i> ( <i>in vitro</i> でトロンボポイエチンにより誘導される巨核球コロニーに対するヒトヘルペスウイルス 6 型の抑制作用)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 原田 実根 教授 加藤 宣之

#### 学位論文内容の要旨

造血幹細胞移植時の生着不全と HHV-6 との関連を示唆する報告と、突発性発疹時に血小板減少を伴うことから、我々は HHV-6 が血小板産生を抑制するのではないかと考えた。そこで臍帯血単核球を造血前駆細胞のソースとして、半固形培地でトロンボポイエチン(TPO)で誘導される造血コロニーを種々の条件で培養したところ、巨核芽球コロニー(CFU-Meg)と non-CFU-Meg の 2 種類のコロニーが形成された。CFU-Meg コロニーは“透明な細胞質と屈曲性のある細胞膜”をもつ細胞群を形態学的に同定した。その細胞は大部分が CD41 抗原陽性であった。HHV-6A, 6B は TPO で誘導されるいずれのコロニーも抑制するのに対し、HHV-7 は全くコロニー形成に影響を与えなかった。この抑制作用はウイルスの熱不活化やウイルスのフィルター除去によって完全に解除されることより、ウイルス自身の作用と考えられた。また CD34+細胞に HHV-6 を感染させた後、ウイルスゲノムが継続的に *in situ hybridization* 法で検出できたことより、この抑制作用は HHV-6 が造血前駆細胞に直接作用する結果であると推察された。

#### 論文審査結果の要旨

本研究では、まず臍帯血単核球をトロンボポイエチンと血清、あるいはトロンボポイエチンと stem cell factor を加えた半固形培地で培養すると、巨核芽球のコロニーが効率よく形成できることを認めた。次いでこの系にヒトヘルペスウイルス 6 型 (HHV-6) および 7 型 (HHV-7) を感染させると、HHV-7 はコロニー形成に全く影響しないが、6 型はコロニー形成を抑制すること、さらには、この抑制作用はウイルスの造血前駆細胞に対する直接作用であることを認めた。

これらの発見は非常に価値ある業績であることを認め、よって本研究は博士 (医学) の学位を得る資格があると判定した。